



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社コプロ・ホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 7059 URL <https://www.copro-h.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 甲介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 保浦 知生 TEL 052-589-3066
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,172	—	670	—	667	—	436	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 436百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	92.72	91.02
2019年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,323	4,931	67.3
2019年3月期	7,474	4,692	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,931百万円 2019年3月期 4,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	45.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 記念配当2円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,137	21.4	1,493	11.0	1,489	11.4	975	3.9	207.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,000,000 株	2019年3月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	290,000 株	2019年3月期	290,000 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,710,000 株	2019年3月期2Q	4,100,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国、中国を始めとする貿易問題の国際的な緊張が高まり、輸出業を中心に不透明な状況が継続するものの、雇用・所得環境は緩やかな回復基調で推移しております。また、人材派遣業界においては、国内の労働人口が減少しており、多くの業界が人材確保に苦慮しているため、需要は引き続き活況となりました。特に当社グループの主要顧客が属する建設業界においては、高齢化及び若手不足が顕著であり、人材不足は深刻となっております。

このような事業環境のもと、当社グループは2019年4月に新規開設した3支店（東京プラント支店、名古屋プラント支店、大阪プラント支店）の事業拡大、配属人員数の増加及び派遣先へのチャージアップ（派遣技術社員一人当たりの売上単価の向上）の交渉を推進いたしました。また、当社グループの成長の礎となる付加価値の高いエンジニアとなり得る人材の確保のため、技術社員による知人紹介の推進、有料媒体での募集等、採用強化に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高6,172,718千円、営業利益670,295千円、経常利益667,562千円、親会社株主に帰属する四半期純利益436,718千円となりました。

なお、当社グループは建設技術者派遣事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて150,731千円減少し、7,323,950千円となりました。

これは主に、派遣契約の新規受注や契約条件の見直し等の営業活動の結果売上が増加したことに伴い、売掛金が98,764千円増加した一方で、配当金の支払等により現金及び預金が174,569千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて389,629千円減少し、2,392,245千円となりました。

これは主に、償還により社債が122,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて238,898千円増加し、4,931,705千円となりました。

これは主に、剰余金の配当197,820千円を実施した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益436,718千円を計上したことにより利益剰余金が238,898千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、4,518,084千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は147,324千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益672,359千円、減価償却費40,304千円、売上債権の増加額98,764千円、未払金の減少額136,920千円及び法人税等の支払額221,415千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,936千円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は332,266千円となりました。これは主に社債の償還による支出が122,000千円及び配当金の支払額197,382千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,761,096	4,586,527
売掛金	1,526,054	1,624,819
その他	199,432	150,190
貸倒引当金	△361	△386
流動資産合計	6,486,222	6,361,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	293,628	288,817
建設仮勘定	19,953	10,032
その他（純額）	75,064	73,797
有形固定資産合計	388,646	372,648
無形固定資産		
リース資産	48,636	38,421
その他	26,814	30,297
無形固定資産合計	75,450	68,718
投資その他の資産		
繰延税金資産	104,044	96,119
その他	420,318	425,312
投資その他の資産合計	524,362	521,432
固定資産合計	988,459	962,798
資産合計	7,474,681	7,323,950
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	244,000	244,000
リース債務	25,872	26,080
未払法人税等	209,474	203,485
賞与引当金	95,549	88,217
未払金	1,056,835	946,902
資産除去債務	785	6,517
その他	472,472	340,224
流動負債合計	2,104,990	1,855,428
固定負債		
社債	557,000	435,000
リース債務	42,533	29,441
資産除去債務	77,350	72,375
固定負債合計	676,884	536,816
負債合計	2,781,874	2,392,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	1,169,858	1,169,858
利益剰余金	3,494,398	3,733,297
自己株式	△1,450	△1,450
株主資本合計	4,692,806	4,931,705
純資産合計	4,692,806	4,931,705
負債純資産合計	7,474,681	7,323,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,172,718
売上原価	4,125,951
売上総利益	2,046,766
販売費及び一般管理費	1,376,471
営業利益	670,295
営業外収益	
受取利息	20
受取賃貸料	570
その他	61
営業外収益合計	652
営業外費用	
支払利息	1,465
支払保証料	1,435
その他	483
営業外費用合計	3,384
経常利益	667,562
特別利益	
保険解約返戻金	17,800
特別利益合計	17,800
特別損失	
固定資産除却損	13,003
特別損失合計	13,003
税金等調整前四半期純利益	672,359
法人税、住民税及び事業税	227,716
法人税等調整額	7,924
法人税等合計	235,641
四半期純利益	436,718
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,718

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	436,718
四半期包括利益	436,718
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	436,718

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	672,359
減価償却費	40,304
保険解約返戻金	△17,800
固定資産除却損	13,003
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,332
受取利息	△20
支払利息	1,465
売上債権の増減額 (△は増加)	△98,764
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	27,397
未払金の増減額 (△は減少)	△136,920
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△132,685
その他	9,169
小計	370,200
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△1,481
法人税等の支払額	△221,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△6,000
その他	9,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△12,884
社債の償還による支出	△122,000
配当金の支払額	△197,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△181,006
現金及び現金同等物の期首残高	4,699,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,518,084

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（コミットメントライン契約の締結）

当社は、2019年11月13日開催の取締役会において、以下のとおり、コミットメントライン契約を締結することを決議いたしました。

1. コミットメントライン設定の目的

今後の積極的な事業展開を推進していくための資金需要に対して、迅速で自由度の高い安定的な資金調達手段の確保を目的としてコミットメントライン契約を締結するものであります。

2. コミットメントライン契約の概要

契約締結先	株式会社三井住友銀行	株式会社中京銀行
融資枠設定金額	2,000,000千円	1,000,000千円
契約締結予定日	2019年11月22日	2019年11月22日
コミットメント期間	2019年11月29日～2020年11月30日 期間延長1年を合計2回まで申込可能 (延長含め3年間)	2019年11月29日～2022年11月30日 (3年間)
担保の状況	無担保	無担保